

公表日

令和 4年 6月 1日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	浸水センサ効果検証業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 藤巻 浩之 福岡市博多区博多駅東2-10-7
契約年月日	令和 4年 6月 1日
契約業者名	(一財) 河川情報センター
契約業者の住所	福岡県福岡市博多区博多駅東2-9-1 東福第2ビル
契約金額	44,902,000円(税込み)
予定価格	44,902,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	
業務場所	福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 4年 6月 2日
履行期間(至)	令和 5年 1月31日
備考	

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

契約理由書

1. 業務件名 浸水センサ効果検証業務
2. 履行場所 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
3. 契約の相手方 住 所：東京都千代田区麹町1-3 ニッセイ半蔵門ビル
会社名：一般財団法人河川情報センター
電 話：03-3239-8171
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

豪雨による浸水被害が頻発するなか、堤防における越水や、周辺地域における浸水の状況を、速やかに把握し、迅速な災害対応や地域への情報発信を行うため、国土交通省が自治体や民間事業者等と連携し浸水センサを活用した実証実験（以下、「浸水センサ実証実験」という。）や河川管理者が堤防に設置する越水センサを活用した実証実験（以下、「越水センサ実証実験」という。）を計画している。本業務は、浸水センサ実証実験及び越水センサ実証実験で取得するデータの精度検証を行いデータの利活用について検討するものである。

2) 業務の内容

・計画準備	1式
・資料収集整理	1式
・浸水センサ実証実験に関する運営補助	1式
・浸水センサ実証実験結果とりまとめ	1式
・越水センサ実証実験のとりまとめ	1式
・浸水センサ、通信方式の技術動向の調査・整理	1式
・センサ利用に関するガイドライン（素案）作成	1式
・報告書作成	1式
・打合せ	1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低29者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を25者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に、「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」、「実施手順」、「その他」における目的、条件、内容の理解度、及び実施手順の妥当性が高く、有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、及び特定テーマの「センサ利用に関するガイドライン（素案）作成を行う上での留意点について」に対する技術提案について着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理されており、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

河川部 水災害予報センター長